【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第１区分
【発行日】平成26年11月27日(2014.11.27)

【公表番号】特表2013-539741(P2013-539741A)
【公表日】平成25年10月28日(2013.10.28)
【年通号数】公開・登録公報2013-059
【出願番号】特願2013-528582(P2013-528582)
【国際特許分類】
Ｃ０３Ｃ　17/34　(2006.01)
Ｃ０３Ｃ　17/32　(2006.01)
Ｂ３２Ｂ　17/10　(2006.01)
Ｅ０６Ｂ　 3/70　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０３Ｃ　17/34　A
Ｃ０３Ｃ　17/32　D
Ｃ０３Ｃ　17/32　B
Ｂ３２Ｂ　17/10
Ｅ０６Ｂ　 3/70　D

【誤訳訂正書】
【提出日】平成26年10月7日(2014.10.7)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも
ａ．ガラス（１）、
ｂ．前記ガラス（１）上に接着剤層（２）
を備えており、
前記接着剤層（２）が、発光顔料（２ａ）を有する少なくとも１つの熱可塑性膜（２ｂ）と、アンチスクラッチコーティング（２ｄ）を有するバリア膜（２ｃ）とを含み、
前記発光顔料（２ａ）が、式：R_1－ＣＯＯ－Ｐ（ＯＨ）ｘ（０－４）－ＣＯＯ－R_2（式中、R_1、R_2は、１から１０個のＣ原子を有するアルキルまたはアリル残基であり、Ｐはフェニル環であり、ＯＨは、前記フェニル環に結合しているヒドロキシル基であり、ｘは、前記フェニル環に結合しているヒドロキシル基の数である。）を有するヒドロキシアルキルテレフタレートを含有する、ガラス板。
【請求項２】
前記バリア膜（２ｃ）が第２の発光顔料を含有する、請求項１に記載のガラス板。
【請求項３】
前記ガラス（１）が強化または部分強化安全ガラスで構成されている、請求項１または２に記載のガラス板。
【請求項４】
前記バリア膜（２ｃ）が、ポリブチレンテレフタレート（ＰＢＴ）、ポリカーボネート（ＰＣ）、ポリエチレンテレフタレート（ＰＥＴ）、およびポリエチレンナフタレート（ＰＥＮ）、ポリ塩化ビニル（ＰＶＣ）、ポリフッ化ビニル（ＰＶＦ）、ポリビニルブチラール（ＰＶＢ）を可塑剤なしで、および／またはこの混合物およびコポリマーを含有する

、請求項１から３のいずれか一項に記載のガラス板。
【請求項５】
前記第１または第２の発光顔料（２ａ、２ｅ）が、３５０ｎｍから４５０ｎｍの範囲の励起極大、および／または４００ｎｍから８００ｎｍの範囲の発光極大を有する、請求項１から４のいずれか一項に記載のガラス板。
【請求項６】
前記アンチスクラッチコーティング（２ｄ）が、有機または無機結合SiO_2、TiO_2、Al_2O_3、Si_3N_4、またはポリシロキサンを含有する、請求項１から５のいずれか一項に記載のガラス板。
【請求項７】
前記接着剤層（２）が０．３０ｍｍから０．９ｍｍの厚さを有する、請求項１から６のいずれか一項に記載のガラス板。
【請求項８】
前記発光顔料（２ａ）が、ジエチル２，５－ジヒドロキシテレフタレートを含有する、請求項１から７のいずれか一項に記載のガラス板。
【請求項９】
前記発光顔料（２ａ）が、ベンゾピラン、ナフトピラン、２Ｈ－ナフトピラン、３Ｈ－ナフトピラン、２Ｈ－フェナントロピラン、３Ｈ－フェナントロピラン、フォトクロミック樹脂、クマリン、キサンチン、ナフタル酸誘導体、オキサゾール、スチルベン、スチリル、ペリレン、ランタニド、Y_2O_3：Ｅｕ、ＹＶO_4：Ｔｍ、Y_2O_2S：Ｐｒ、Gd_2O_2S：Ｔｂ、および／またはこの混合物を含有する、請求項１から８のいずれか一項に記載のガラス板。
【請求項１０】
前記ガラス（１）が、１ｍｍから８ｍｍの厚さを有する、請求項１から９のいずれか一項に記載のガラス板。
【請求項１１】
前記バリア膜（２ｃ）が、被膜（２ｅ）を有する、請求項１から１０のいずれか一項に記載のガラス板。
【請求項１２】
請求項１から１１に記載のガラス板、および前記ガラス板に指向される光源（４）を備えており、前記光源（４）が電磁放射線を前記ガラス板上に放出する、ピクトグラム、図形文字および／または数字を表示するためのデバイス。
【請求項１３】
前記光源（４）がレーザーで構成されている、請求項１２に記載のデバイス。
【請求項１４】
ａ．熱可塑性膜（２ｂ）と、アンチスクラッチコーティング（２ｄ）を有するバリア膜（２ｃ）とを接着させて接着剤層（２）を形成し、
ｂ．発光顔料（２ａ）を前記接着剤層（２）の熱可塑性膜（２ｂ）上に適用し、
ｃ．前記接着剤層（２）を前記ガラス（１）と積層板（３）との間に積層し、
ｄ．前記積層板（３）を外すことを含み、
前記発光顔料（２ａ）が、式：R_1－ＣＯＯ－Ｐ（ＯＨ）ｘ（０－４）－ＣＯＯ－R_2（式中、R_1、R_2は、１から１０個のＣ原子を有するアルキルまたはアリル残基であり、Ｐはフェニル環であり、ＯＨは、前記フェニル環に結合しているヒドロキシル基であり、ｘは、前記フェニル環に結合しているヒドロキシル基の数である。）を有するヒドロキシアルキルテレフタレートを含有する
ことを特徴とする、ガラス板の作製方法。
【請求項１５】
建造物、自動車、飛行機および／またはヘリコプターにおけるヘッドアップディスプレイとしての、または自動車におけるフロントガラスとしての請求項１から１１のいずれか一項に記載のガラス板の使用。